

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町生涯学習センター事業					事業コード	630234				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市夜久野町生涯学習センター条例、夜久野町生涯学習センター条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	夜久野町生涯学習センター改修事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野ふれあいプラザのうち、生涯学習センター機能の部分の管理運営を行い、生涯を通じた学びの場づくりの提供を行う。										
対象者	夜久野町生涯学習センター利用者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)橋田舞台設備(舞台)、(株)荏原製作所給水ポンプユニット、他6件										
事業概要 (箇条書き)	・舞台音響及び照明保守点検業務 ・消防設備保守点検業務 ・防火対象物定期点検業務 ・自家用電気工作物保安管理業務 ・舞台吊物設備点検業務・ガス空調設備保守点検業務・給水ポンプユニット設備保守点検業務・自動扉保守点検業務										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	1,997	臨時職員報酬								
	職員手当等	130	臨時職員期末手当								
	需用費	5,404	消耗品、光熱水費等								
	委託料	3,574	維持管理業務								
	役員費、備品購入費	437	損害保険料、施設備品等								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	11,502	11,806	12,070	15,107			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	11,502	11,806	12,070	15,107				
予算財源内訳	① 一般財源	10,535	10,841	11,140	14,177			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	967	965	930	930			
決算情報	① 流充用額	△ 724	8					
	② 配当予算	10,778	11,814					
	③ 執行額	9,951	11,542					
	④ 執行率	92.3%	97.7%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.40 / 0.00	0.42 / 0.00	0.42 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,200	3,360	3,360	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,151	14,902	3,360	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野町生涯学習センター使用料	種類	教育使用料	実績金額	514	12	頁
		自動販売機設置貸付収入		財産貸付収入		38	34	
		夜久野町生涯学習センター(自動販売機等電気代等)		雑入		57	44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	利用者数	人	12977 / 16000	7029 / 16000	10897 / 16000	/ 16000	16000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	360 / 360	359 / 359	359 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		29.9	27.7	32.2		
	単位あたりコスト		/	1 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習の推進と、地域の活性化を図る地域拠点として活用されている。今後、施設管理等の一部を民間業者や地域協議会などに委託することは可能であるが、コストなど比較検証が必要である。 生涯学習センターは夜久野地域の学びの拠点であるため、学びの場の管理運営は優先度が高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 設備の管理委託等は長期継続契約を行いコストの削減に努めている。 関西電力からたんたんエナジーへの切り替えを行い、従来に比べ低料金で電気を利用している。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難いものの、利用者は増加傾向にある。ただし、令和元年度は施設の屋根改修による利用制限(10月から1月)、令和2年度はコロナ感染拡大防止による休館(4月18日から5月6日)、令和3年度もコロナ感染拡大防止による休館があり利用者が減少している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●最新の設備を備えたプラザは市民の研修の場として広く活用されている。特に文化ホールは高い利便性と適切な規模(299席)で好評である。 ●市民の文化的活動の推進、集会施設として適正な利用が図れるよう、維持管理・保守管理に努めている。 ●建物の所管課(生涯学習課)が離れているため、施設に問題が生じた際、迅速な対応が難しい。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●美観・木質を大切にしたい建物であるが、建築後15年が経過し、設備等に次々と不具合が生じており、交換修繕などで今後の維持管理経費の増加が懸念される。点検・状況確認を行い、計画的及び優先順位を見極めつつ修繕・改修工事を立案実施する。 ●支所機能に加え住民の文化・保健福祉複合機能を有しており、管理運営について生涯学習課の所管が適当であるか、関係機関と協議を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の生涯学習の拠点となるよう、施設の点検・状況確認を行い、計画的及び優先順位を見極めつつ修繕等の維持管理に努める。 ●今後の施設管理運営について関係機関と引き続き協議を行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町生涯学習センター改修事業					事業コード	630264					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	230	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市夜久野町生涯学習センター条例、夜久野町生涯学習センター条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	夜久野町生涯学習センター事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生涯学習の拠点施設として、市民の創作活動・文化活動の向上発展を推進する場となるよう安心・安全な施設運営を継続して行うための施設整備を実施する。											
対象者	夜久野町生涯学習センター利用者			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	芦田建築設計事務所											
事業概要 (箇条書き)	●市民の生涯学習活動の拠点として広く利用されているが、夜久野町生涯学習センターは竣工から15年以上経過しており施設設備等の老朽化が見られ、令和3年度に空調機器の更新及び室内照明をLED灯に更新するための実施設計を行った。 ●実施設計に基づき空調設備更新工事及び天井照明LED化ほか改修工事の実施により、SDGsに呼応した持続可能なまちづくりとして、生涯学習の拠点施設の整備が実施され、地域住民の創作活動・文化活動の向上に寄与する場となります。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	4,741		LED・空調更新設計業務委託								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		7,000		4,500		0		
	② 補正予算	0		190,700		0		0		
	③ 繰越予算	0		△ 190,700		190,700		0		
	前年度繰越	0		0		190,700		0		
	次年度繰越	0		△ 190,700		0		0		
小計(①~③)	0		7,000		195,200		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		31,500		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		7,000		163,700		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,403						
	② 配当予算	0		5,597						
	③ 執行額	0		4,741						
	④ 執行率	0.0%		84.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00	/	0.00	0.20	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		1,600		1,600		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0		6,341		1,600		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野町生涯学習センター改修事業(過疎対策)		種類	教育債		4,300		54	頁
		実績金額			決算付属資料					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事完了件数	件	/	/	/	0 / 2	/ 2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	設計業務委託数	件	/	/	1 / 1	/	1
	単位あたりコスト		/	/	4741.0		
	単位あたりコスト		/	3 /	/		夜久野町生涯学習センター改修事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 施設のLED化や空調の更新による省エネ化は社会に求められるSDGsに資する事業である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 施設のLED化や空調の更新により、消費電力が抑えられるため、今後の施設としてのランニングコストは削減できる。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 空調の更新、LED化に係る設計を行った。 支所機能、文化・保健福祉機能を有する施設として、安心安全かつ快適な利用が図られる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●美観・木質を大切にしたい建物であるが、建築後15年以上が経過し、設備等に次々と不具合が生じており、交換修繕などで今後の維持管理経費の増加が懸念される。点検・状況確認を行い、計画的及び優先順位を見極めつつ修繕・改修工事を立案実施する。 ●令和3年度に実施した照明のLED化や空調の更新にかかる設計業務に基づき改修工事を行うことで、市民の文化的活動の推進・集会所として快適な利用が図られる。さらに、施設のランニングコスト削減につながり、SDGsに貢献できる事業である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●支所機能に加え住民の文化・保健福祉複合機能を有しており、管理運営について生涯学習課の所管が適当であるか、関係機関で協議を行う。 ●令和4年度はWi-Fi整備を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	施設のLED化改修や空調の改修工事を複数年かけて改修する計画していたが、前倒して改修することができたため、計画期間より早期に事業廃止となった。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中央公民館一般管理事業					事業コード	630101				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	232	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民・住民が、中央公民館を快適に利用できるよう、すみやかな利用受付を行い、また生涯学習情報を提供することにより、多くの市民の学習活動を推進していく。										
対象者	中央及び地域公民館等利用可能対象者					対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・中央公民館の利用予約の受付、使用許可、使用料の徴収等 ・各種講座・教室等を案内する生涯学習情報誌を作成し、市内全世帯に配布することにより、市民の自主的な学びを推進する。 ・事業成果等は「公民館活動のまとめ」として作成し、社会教育関係者に配布し今後の事業推進に生かしていく。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績 (R3)	主な業務内容								
	報酬、職員手当等	3,237	公民館運営審議会委員報酬、臨時職員報酬、臨時職員報酬								
	需用費	408	各種消耗品等								
	役務費	220	通信運搬費(郵送料、Wi-Fi・電話通信料など)								
	使用料及び賃借料	48	コピー機使用料								
負担金補助及び交付金	30	公民館連絡協議会分担金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,001	4,791	5,065	6,160				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	5,001	4,791	5,065	6,160					
予算財源内訳	① 一般財源	1,274	1,150	1,610	2,705				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	3,727	3,641	3,455	3,455				
決算情報	① 流充用額	△ 53	△ 124						
	② 配当予算	4,948	4,667						
	③ 執行額	3,452	3,943						
	④ 執行率	69.8%	84.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.08 / 0.30	0.08 / 0.30	0.08 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,390	1,390	1,390	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,842	5,333	1,390	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自動販売機設置貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	1,391	決算付属資料	34	頁
		中央公民館使用料・電柱等設置占用料		教育使用料		1,216		12	
		雑入(コピー代)		雑入		5		46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	43056 / 43000	19485 / 44000	21254 / 44000	/ 44000	44000
利用件数	件	2493 / 2300	1212 / 2500	1495 / 2500	/ 2500	2500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	343 / 360	325 / 359	290 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		10.3	10.6	13.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト			5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	住民の生涯学習の拠点、また地域公民館を取りまとめる機能として中央公民館は必要不可欠な組織である。 生涯学習活動に適した多様な部屋を利用して、公民館活動の充実が図られているが、施設としては市民交流プラザと中央公民館のさらなる活用を検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。光熱水費等もかさむことから、受益者負担として、施設使用料(減免)の見直しについて検討していく必要があるが、地域住民の学び・集い・結ぶという公民館の設置目的から、十分な議論が必要である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	生涯学習活動やサークル活動など、駅前のランドマークであり住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、今後も多くの利用が期待できる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での人と人との絆が薄れていく現代社会状況の中で、生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、中央公民館が快適安全で利便性の高い公共施設として、利用数は増加傾向であったが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策のため施設休止、利用制限等を余儀なくされた。		
改善策	地域公民館未設置の南陵中学校区の公民館として、また、各地域公民館を統括する主管公民館であることから、今後も、公民館に多くの住民が集い、学び、人と人との絆を結ぶきっかけづくりとなるよう、生涯学習情報誌の作成や、市立公民館全体の情報発信を行ない、多くの住民の学習活動を推進していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市民・住民が、中央公民館を快適に利用できるよう、すみやかな利用受付を行い、また生涯学習情報を提供することにより、多くの住民の学習活動を推進していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	川口地域公民館一般管理事業				事業コード	630102					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422					
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	232	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	川口地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。										
対象者	川口地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限会社、株式会社西日本エスエスシーほか										
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るため、また住民ニーズに添った施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬、職員手当等	1,000	臨時職員報酬、期末手当								
	需用費	1,770	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(消防設備修繕)								
	役務費	208	共済保険、通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)								
	委託料	523	機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など								
	使用料及び賃借料	172	印刷賃借料、テレビ受信料など								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,453	3,816	6,333	6,980			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	3,453	3,816	6,333	6,980				
予算財源内訳	① 一般財源	3,358	3,706	6,158	6,805			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	95	110	175	175			
決算情報	① 流充用額	200	7					
	② 配当予算	3,653	3,823					
	③ 執行額	3,577	3,672					
	④ 執行率	97.9%	96.1%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,115	2,195	2,195	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,692	5,867	2,195	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	川口地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	108	12	頁
		雑入(自動販売機等電気代等)		雑入	19	44		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	4496 / 6400	3372 / 6400	1022 / 6400	/ 6400	6400
公民館利用件数	件	531 / 0	227 / 600	69 / 600	/ 600	600	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	270 / 287	272 / 280	239 / 280	/ 280	280
	単位あたりコスト		14.8	13.2	15.4		
	地域住民利用者数	人	3254 / 5000	3033 / 5000	421 / 5000	/ 5000	5000
	単位あたりコスト		1.2	1.2	8.7		

川口地域公民館一般管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理、修繕等を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。</p> <p>地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、令和元年度より地域包括支援センターの機能を統合し連携した取組みを行っており、今後も利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。</p>		
改善策	<p>生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「住民センター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行っていく。</p> <p>令和4年度以降、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。</p> <p>また、適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度より、生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「地域住民センター」の位置づけを行い、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。令和6年度の大規模改修に向けて、内容等地元協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	日新地域公民館一般管理事業				事業コード	630103						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	232・234	頁
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	日新地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。											
対象者	日新地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	76,037			単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限会社、株式会社西日本エスエスシーほか											
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用環境整備、また住民ニーズに添った施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	報酬、職員手当等	968			臨時職員報酬、期末手当							
	需用費	2,416			光熱水費、消耗品、燃料費							
	役務費	168			共済保険、通信運搬費(電話代)など							
	委託料	581			機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など							
	使用料及び賃借料、備品購入費	170			印刷賃借料、テレビ受信料など							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,324	4,889	5,216	7,581			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	4,324	4,889	5,216	7,581				
予算財源内訳	① 一般財源	4,024	4,574	4,901	7,423			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	300	315	315	158			
決算情報	① 流充用額	△ 83	0					
	② 配当予算	4,241	4,889					
	③ 執行額	4,015	4,302					
	④ 執行率	94.7%	88.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,115	2,195	2,195	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,130	6,497	2,195	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	日新地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	234	12	頁
		雑入(自動販売機等電気代等)		雑入	47	44		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	19649 / 21000	10980 / 21000	5224 / 21000	/ 21000	21000
公民館利用件数	件	1394 / 0	1297 / 1500	641 / 1500	/ 1500	1500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	271 / 288	272 / 288	239 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		15.9	14.8	18.0		
	地域住民利用人数	人	18725 / 20000	10877 / 20000	5170 / 20000	/ 20000	20000
	単位あたりコスト		0.2	0.4	0.8		

日新地域公民館一般管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「住民センター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行っていく。 令和4年度以降、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 また、適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	大規模改修後の地域公民館について、地域住民のコミュニティ拠点として有効活用を図る。また、令和5年度より、生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「地域住民センター」の位置づけを行い、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	北陵地域公民館一般管理事業				事業コード	630104						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
計画期間	開始年度	昭和54年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	北陵地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。											
対象者	北陵地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、株式会社かんとーず、株式会社西日本エスエスシー											
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の適切な管理運営・施設修繕(令和3年度においては、金山会館にて仮運営を行った) ・災害時においては広域避難所として使用。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬、職員手当等	998		臨時職員報酬、期末手当								
	需用費	721		光熱水費、消耗品、燃料費								
	役務費	230		共済保険、通信運搬費(電話代)など								
	委託料	248		機械警備、消防設備等点検、体育館浄化槽維持管理委託								
使用料及び賃借料	187		印刷賃借料、テレビ受信料など									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,158	2,361	4,172	5,398			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	2,158	2,361	4,172	5,398				
予算財源内訳	① 一般財源	2,143	2,346	4,157	5,248			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	15	15	15	150			
決算情報	① 流充用額	46	101					
	② 配当予算	2,204	2,462					
	③ 執行額	2,099	2,383					
	④ 執行率	95.2%	96.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.45	0.04 / 0.45	0.04 / 0.45	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,365	1,445	1,445	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,464	3,828	1,445	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	北陵地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	8	12	頁
		雑入(施設等光熱水費)		雑入		71	44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	812 / 1000	861 / 1000	976 / 1000	/ 1000	1000
公民館利用件数	件	32 / 0	37 / 35	47 / 35	/ 35	35	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	271 / 288	272 / 288	239 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		6.1	7.7	10.0		
	地域住民利用人数	人	812 / 800	645 / 800	730 / 800	/ 800	800
単位あたりコスト		2.0	3.3	3.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「住民センター」とすべく、施設の新築工事と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行った。 令和4年度より、住民センターの位置づけも行き、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	リニューアルした地域公民館について、地域住民のコミュニティ拠点として有効活用し、地域住民のニーズに添うよう、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。また、地域住民自らが地域課題解決や地域の発展に取り組む地域協議会との連携を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	六人部地域公民館一般管理事業					事業コード	630105				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	六人部地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。										
対象者	六人部地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限会社、株式会社西日本エスエスシーほか										
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	報酬、職員手当等	987			臨時職員報酬、期末手当						
	需用費	1,482			光熱水費、消耗品、施設修繕費(ガラススクリーン修繕ほか)など						
	役務費	155			共済保険、通信運搬費(電話代) 手数料など						
	委託料	632			機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など						
	使用料及び賃借料	145			印刷賃借料、テレビ受信料など						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,412	3,659	5,987	6,626			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	3,412	3,659	5,987	6,626				
予算財源内訳	① 一般財源	3,077	3,324	5,502	6,458			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	335	335	485	168			
決算情報	① 流充用額	43	0					
	② 配当予算	3,455	3,659					
	③ 執行額	3,225	3,401					
	④ 執行率	93.3%	92.9%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,115	2,195	2,195	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,340	5,596	2,195	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	六人部地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	239	12	頁
		雑入(自動販売機等電気代等)	雑入		63	44		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	20190 / 22500	15836 / 22500	10530 / 22500	/ 22500	22500
公民館利用件数	件	3173 / 0	1484 / 3200	1005 / 3200	/ 3200	3200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	269 / 286	271 / 288	239 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		11.9	11.9	14.2		
	地域住民利用人数	人	19590 / 20000	15247 / 20000	10387 / 20000	/ 20000	20000
	単位あたりコスト		0.2	0.2	0.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「住民センター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行っていく。 令和4年度以降、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 また、適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。令和5年度の大規模改修に向けて、内容等地元協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	成和地域公民館一般管理事業				事業コード	630106						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	成和地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。											
対象者	成和地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限会社、株式会社西日本エスエスシーほか											
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬、職員手当等	951		臨時職員報酬、期末手当								
	需用費	3,709		光熱水費、消耗品、施設修繕費(体育館雨漏り修繕ほか)など								
	役務費	177		共済保険、通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など								
	委託料	763		機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など								
使用料及び賃借料	152		印刷賃借料、テレビ受信料など									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,711		7,043		9,900		11,801				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①~③)	5,711		7,043		9,900		11,801					
予算財源内訳	① 一般財源	5,276		6,613		9,270		11,171				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	435		430		630		630				
決算情報	① 流充用額	△ 70		△ 202								
	② 配当予算	5,641		6,841								
	③ 執行額	5,557		5,752								
	④ 執行率	98.5%		84.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.75		0.04 / 0.75		0.04 / 0.75		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,115		2,195		2,195		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,672		7,947		2,195		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	成和地域公民館使用料		種類	教育使用料		実績金額		291		12	
		雑入(自動販売機等電気代等ほか)			雑入		51		決算付属資料		44	
頁												

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	25526 / 27000	21124 / 28000	16023 / 28000	/ 28000	28000
公民館利用件数	件	1398 / 0	1314 / 1500	996 / 1500	/ 1500	1500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	272 / 289	274 / 289	239 / 289	/ 289	289
	単位あたりコスト		20.2	20.3	24.1		
	地域住民利用人数	人	24277 / 26000	16147 / 26000	12137 / 26000	/ 26000	26000
単位あたりコスト		0.2	0.3	0.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「住民センター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行っていく。 令和4年度以降、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 また、適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度より、生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「地域住民センター」の位置づけを行い、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	桃映地域公民館一般管理事業				事業コード	630107						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	桃映地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。											
対象者	桃映地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社、株式会社西日本エスエスシー											
事業概要 (簡潔書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬、職員手当等	764		臨時職員報酬、期末手当								
	需用費	939		光熱水費、消耗品など								
	役務費	138		共済保険、通信運搬費(電話代)など								
	委託料	63		機械警備、消防設備等点検委託								
使用料及び賃借料	145		印刷賃借料、テレビ受信料など									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,085	2,131	4,231	5,060			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	2,085	2,131	4,231	5,060				
予算財源内訳	① 一般財源	1,800	1,806	3,756	4,585			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	285	325	475	475			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	2,085	2,131					
	③ 執行額	1,984	2,049					
	④ 執行率	95.2%	96.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,115	2,195	2,195	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,099	4,244	2,195	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	桃映地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	238	12	頁
		雑入(自動販売機等電気代等)	雑入		33	44		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	8497 / 8500	11987 / 9000	7722 / 9000	/ 9000	9000
公民館利用件数	件	1053 / 0	961 / 1200	846 / 1200	/ 1200	1200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	271 / 288	288 / 288	222 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		7.3	6.9	9.2		
	地域住民利用人数	人	8446 / 8500	4074 / 8500	3389 / 8500	/ 8500	8500
単位あたりコスト		0.2	0.5	0.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。 また、他の地域公民館と同様に、体育館に加えて研修室や調理室、地域福祉や人権の拠点施設としての機能を持つ新たな公民館を設置していく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、人権、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した新たな桃映地域公民館の建設に向けて、関係課及び地域住民と協議を行っていく。 令和4年度以降、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 令和5年度の桃映地域公民館の建設に向けて事業を円滑に進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和地域公民館一般管理事業				事業コード	630108					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422					
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	234・236	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。										
対象者	三和地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、東芝エレベーター株式会社関西支社、西岡電気設備管理事務所、姫路ナブコ株式会社ほか										
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬、職員手当等	969	臨時職員報酬、期末手当								
	需用費	1,726	光熱水費、消耗品、施設修繕費(トイレタイル修繕ほか)など								
	役務費	203	共済保険、通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など								
	委託料	1,003	機械警備、定期清掃、電気工作物、エレベーター、自動扉保守点検委託など								
	使用料及び賃借料	34	テレビ受信料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,824	3,942	4,890	6,242			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	3,824	3,942	4,890	6,242				
予算財源内訳	① 一般財源	3,709	3,827	4,775	6,127			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	115	115	115	115			
決算情報	① 流充用額	104	26					
	② 配当予算	3,928	3,968					
	③ 執行額	3,519	3,935					
	④ 執行率	89.6%	99.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,115	2,195	2,195	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,634	6,130	2,195	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	67	12	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	6909 / 8200	3831 / 8200	3536 / 8200	/ 8200	8200
公民館利用件数	件	632 / 0	433 / 700	350 / 700	/ 700	700	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	342 / 359	327 / 359	290 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		13.3	10.8	13.6		
	地域住民利用人数	人	6753 / 7000	3796 / 7000	3470 / 7000	/ 7000	7000
単位あたりコスト		0.7	0.9	1.1			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 令和4年度以降、三和荘での公民館運営について、今後も地域住民に広く利用され地域の拠点としての活用を図り、利用者を増やしていく。		
改善策	令和4年度から、三和荘内に事務所を移転し、支所との連携を図り、体育施設等の有効活用により、利用者増につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度以降、三和荘での公民館運営について、今後も地域住民に広く利用され地域の拠点としての活用を図り、住民のコミュニティ向上、生涯学習環境の充実を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野地域公民館一般管理事業					事業コード	630112				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野地域の旧小学校体育施設を適正に管理することにより、市民の交流の場として、体力増進、健康づくりの活動が快適、安全に行なえることを目的とする。										
対象者	夜久野地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (簡潔書き)	・施設の維持管理運営事業 ・旧小学校体育施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	報酬、職員手当等	1,424			臨時職員報酬、期末手当						
	需用費	42			消耗品費						
	役務費	125			通信運搬費(電話代)						
	使用料及び賃借料	14			テレビ受信料						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,647	1,626	1,307	1,729				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,647	1,626	1,307	1,729					
予算財源内訳	① 一般財源	1,647	1,616	1,297	1,719				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	10	10	10				
決算情報	① 流充用額	101	57						
	② 配当予算	1,748	1,683						
	③ 執行額	1,743	1,605						
	④ 執行率	99.7%	95.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.03 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,115	2,195	2,195	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,858	3,800	2,195	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	旧小学校体育施設使用料	種類	教育使用料	実績金額	22	決算付属資料	12	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	夜久野町旧小学校体育施設利用者	人	3928 / 1500	2480 / 1500	1451 / 1500	/ 1500	1500
	夜久野町旧小学校体育施設利用件数	件	149 / 200	201 / 200	125 / 200	/ 200	200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	342 / 359	201 / 359	290 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		4.7	8.7	5.5		
	夜久野町旧小学校体育施設地域住民利用者数	人	0 / 0	1900 / 1500	1391 / 1500	/ 1500	1500
	単位あたりコスト			0.9	1.2		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	施設の適正な維持管理を行うため計画的に修繕を行う必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度より、生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「地域住民センター」の位置づけを行い、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江町総合会館運営事業					事業コード	630116				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市大江町過疎地域総合センター条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江町総合会館を適正に管理することにより、快適・安全な施設利用を進め、イベントホールもあることから、地域内外からの住民交流や生涯学習活動の場として利用されることを目的とする。										
対象者	大江地域住民を中心とする大江町総合会館利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	三精テクノロジーズ株式会社、コトキシーティング株式会社、姫路ナブコ株式会社、由良電気設備管理事務所、株式会社丹新ビルサービスほか										
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	報酬、職員手当等	1,832			臨時職員報酬、期末手当						
	需用費	4,978			光熱水費、消耗品、施設修繕費(自動扉修繕)など						
	役務費	66			共済保険、手数料(ピアノ調律手数料)など						
	委託料	1,271			電気工作物、建築物環境衛生管理、エレベーター、電動式移動観覧席、舞台機構、自動扉点検委託など						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	7,338		8,163		8,244		12,759		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	7,338		8,163		8,244		12,759			
予算財源内訳	① 一般財源	6,468		7,693		7,774		12,289		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	870		470		470		470		
決算情報	① 流充用額	73		33						
	② 配当予算	7,411		8,196						
	③ 執行額	7,407		8,146						
	④ 執行率	99.9%		99.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 0.05	0.06 / 0.05	0.06 / 0.05	0.06 / 0.05	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	525		605		605		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,932		8,751		605		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江町総合会館使用料		種類	教育使用料		501		12	
		雑入(自動販売機等電気代等)			雑入		22		44	
				実績金額				頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	総合会館利用人数	人	24292 / 20000	23170 / 25000	11510 / 25000	/ 25000	25000
	総合会館利用件数	件	700 / 700	681 / 700	337 / 700	/ 700	700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	343 / 360	322 / 359	287 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		22.4	23.0	28.4		
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	大江町総合会館運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	支所と連動した大江駅前を中心施設であり、適正な施設管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を实践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。 支所と連携して活用を図る施設であるため、今後の施設運営・管理について、効率性・有効性を考えていく必要がある。		
改善策	施設の維持管理を適正に行うため計画的に修繕を行い利用者の利便性を図る。 施設の運営・管理について、効率性・有効性を考え検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	大江町総合会館を適正に管理することにより、快適・安全な施設利用を進め、イベントホールもあることから、地域内外からの住民交流や生涯学習活動の場として活用を図る。 令和5年度予算について、国際情勢の変化に伴う原油、液化天然ガスなどの価格上昇の影響による電気・ガス料金の高騰に伴い、円滑な施設運営の維持のため、光熱費を増額要求します。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業					事業コード	630146					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	スマートシティふくちやま基本計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市のスマートシティ推進計画実現に向け各公民館でIT講座を実施する経費。本市のスマートシティ推進計画は、すべての市民がICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることを目標に推進している。この計画のもと、「誰一人取り残さない」スマートシティを目指し、地域公民館10館でスマホやタブレット等身近なICT機器の便利な使い方や活用法を学ぶ、生涯学習市民講座を生涯を通じた学びの一環として開催する。											
対象者	講座参加者	対象者数	200		単位あたりコスト	31.5						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山公立大学情報学部											
事業概要 (箇条書き)	福知山公立大学情報学部と連携し、教員及び学生が講師を務め、中央公民館及び各地域公民館計10館で初心者向けのスマホ講座(3回連続講座)を実施。共通でオンラインミーティングを行う。 実施講座 ①スマートフォン・タブレットの基礎知識、文字入力の方法、困ったときの対処法、便利な通話法等を知る。 ②アプリって何?! 本市が配布する防災アプリ、情報発信するアプリ(LINE、Facebookなど)をダウンロードして使用してみる。 ③アプリを使いこなそう。第2回でダウンロードしたアプリを他者に薦められる程度まで学習を深める。 Web会議の手法も学び、今後の公民館活動等に応用する。 ④オンラインミーティング実践 各公民館での講座修了者代表が理事者とオンラインまちづくりミーティング実施。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	1,320	スマホ講座委託料									
	備品購入費	597	プロジェクター購入									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	1,446	2,148	2,131		
	② 補正予算	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0	0		
小計(①~③)	0	1,446	2,148	2,131			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0		
	② 国支出金	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	1,446	2,148	2,131		
決算情報	① 流充用額	0	595				
	② 配当予算	0	2,041				
	③ 執行額	0	1,917				
	④ 執行率	0.0%	93.9%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.25 / 0.95	0.25 / 0.95	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	4,375	4,375	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,292	4,375	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	838	30	頁
		スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業基金繰入		基金繰入金	767	40	
				実績金額		決算付属資料	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		概ね満足された人の割合	%	/	/	84 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	講座参加者数	人	/	/	200 / 200	/ 300	300
		単位あたりコスト				9.6	
	講座開催数	回	/	25 /	30	30	30

	単位あたりコスト			63.9		
--	----------	--	--	------	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	すべての市民がICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることを目標としている本市のスマートシティ推進計画実現のため不可欠であり、需要も高く、講座は抽選になるほどニーズが高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	講座については、現在福知山公立大学情報学部へ委託しており、内容の充実と参加者個々のレベルに合わせた講座となっている。テキストもわかりやすい。今後については、このまま大学連携として実施するか、コスト削減の観点から他の事業者も含めた実施方法とするかを検討する。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	参加枠を超える受講希望者がある等、市民の生涯学習意欲は高まっている。講師についても、福知山公立大学の学生が行うことにより、地域の人材育成や相互に学びあう場となっている。受講後アンケートの受講者満足度も高く、本市のスマートシティ推進計画実現に向けて有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての市民がICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることを目標としている本市のスマートシティ推進計画実現のもと、行っている事業であり、市民ニーズも高く、受講者からも好評を博している講座である。一方、実質的なスキルの向上について把握、評価できていないことが課題である。また、参加者にスキルの差があり、より効果的な講座とするための方法を考える必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●スマホを含むICT機器の所持率増加や活用率の増加にどれくらい寄与しているか等分かりやすい数値として評価できないか検討していく。 ●令和4年度は、参加者のスキルに合わせた講座内容・実施を考える。 ●スマートシティ推進計画の実現を目的としており、実施方法等、今後の方向性について、情報推進課と協議を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度についても公立大学情報学部へ委託する予定であり、講座内容や実施回数等を今年度の受講者アンケートを参考に内容の充実を図るよう検討し、情報推進課とも協議連携し、スマートシティ推進計画の実現を進めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江地域公民館一般管理事業				事業コード	630162					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422					
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。										
対象者	大江地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、株式会社西日本エスエスシー ほか										
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕を行う。 ・災害時においては広域避難所として使用。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	報酬、職員手当等	1,048			臨時職員報酬、期末手当						
	需用費	988			光熱水費、消耗品費、施設修繕費(網戸修繕)など						
	役務費	194			共済保険、通信運搬費(電話代)						
	委託料	182			機械警備、定期清掃、消防設備等点検委託						
使用料及び賃借料	219			印刷賃借料、テレビ受信料など							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,101	2,922	5,014	5,675				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,101	2,922	5,014	5,675					
予算財源内訳	① 一般財源	3,039	2,858	4,932	5,600				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	62	64	82	75				
決算情報	① 流充用額	30	60						
	② 配当予算	3,131	2,982						
	③ 執行額	2,556	2,631						
	④ 執行率	81.6%	88.2%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 0.75	0.04 / 0.75	0.04 / 0.75	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,275	2,195	2,195	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,831	4,826	2,195	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江地域公民館使用料		種類	教育使用料	実績金額	38	12	
		雑入(自動販売機等電気代等ほか)		雑入		31	44・48		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公民館利用人数	人	5568 / 5000	2867 / 6000	2261 / 6000	/ 6000	6000
公民館利用件数	件	426 / 0	315 / 500	261 / 500	/ 500	500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	271 / 287	287 / 288	239 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		10.5	8.9	11.0		
	地域住民利用人数	人	5559 / 6000	2542 / 6000	116 / 6000	/ 6000	6000
単位あたりコスト		0.5	1.0	22.7			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	令和4年度以降、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 若い世代の利用促進につなげるため、絵本の読み聞かせや子育て世代向けの講座にも取り組む。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度より、生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「地域住民センター」の位置づけを行い、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 令和4年度に引き続き、若い世代の利用促進につなげるため、こどもスポーツ教室やお話し会など子育て世代向けの講座にも取り組んでいく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市民交流プラザふくちやま管理運営事業						事業コード	630167			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236・238	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	市民交流プラザふくちやま条例、福知山市立公民館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央公民館一般管理事業 中央公民館及び地域公民館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民交流プラザふくちやまの施設利用者の安全と利便性を確保し、適正で効率的な維持管理運営を行う。										
対象者	市民及び在住・在勤者を中心とした市内内外住民不特定多数				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.8		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	オリックス・ファシリティーズ株式会社										
事業概要 (箇条書き)	市民交流プラザふくちやまの施設にかかる各設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、その他の施設維持管理業務										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	19,601	光熱水費、消耗品、施設修繕費(Wi-Fi緊急修繕ほか)など								
	役務費	572	共済保険、通信運搬費(郵送料、電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など								
	委託料	35,992	市民交流プラザふくちやま施設管理業務								
	備品購入費	123	プロジェクターほか								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	55,667	53,778	52,412	68,917			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	55,667	53,778	52,412	68,917				
予算財源内訳	① 一般財源	37,825	35,176	33,810	50,315			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	17,842	18,602	18,602	18,602			
決算情報	① 流充用額	△ 2,248	2,512					
	② 配当予算	53,419	56,290					
	③ 執行額	52,039	56,288					
	④ 執行率	97.4%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.21 / 0.25	0.23 / 0.35	0.23 / 0.35	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,305	2,715	2,715	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	54,344	59,003	2,715	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市民交流プラザふくちやま使用料(会場・駐車場)	種類	総務使用料	実績金額	7,292	10	頁
		雑入(広告料・コピー代・共益費ほか)	雑入		4,103	4,103	34・44・46・48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	市民交流プラザふくちやま利用者数	人	402412 / 423000	222786 / 423000	209802 / 423000	/ 423000	423000
	市民交流プラザふくちやま利用件数	件	4101 / 6900	3375 / 6400	2830 / 6400	/ 6400	6400
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	343 / 360	325 / 359	290 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		153.9	160.1	194.1		
	単位あたりコスト		/	30 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	駅前のランドマークとして市外、府外の利用者も多く、コミュニティづくり、憩いの場として目的に応じた機能を果たし、安全安心で快適な公共施設として提供できるよう施設の適正な維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	府施設予約システムを導入し(R2.10)、利用者の利便性向上、事務効率化に努めている。また、施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	市民の需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。今後、施設の活性化のため利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	計画的に施設整備の改修等を行い利用者の利便性の向上を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して施設の安心安全、健全な維持管理に努める。R5年度に館内照明のLED化を進める。令和5年度予算について、国際情勢の変化に伴う原油、液化天然ガスなどの価格上昇の影響による電気・ガス料金の高騰に伴い、円滑な施設運営の維持のため、光熱費を増額要求します。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	中央公民館及び地域公民館事業				事業コード	630263						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	238	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	各地域公民館一般管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という公民館の目的に添った生涯学習講座等を開催し、地域住民の主体的な学習活動を促進することにより、活動を通じた人と人、地域の絆を深め、地域社会への貢献やコミュニティづくりへの意識を高めていく。また、人づくり・地域づくりを担う人材の育成につなげていく。											
対象者	中央及び地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK											
事業概要 (箇条書き)	子どもから高齢者までが学ぶ多様な生涯学習講座、新たな公民館利用者につながる講座等を実施し、公民館利用者増加につなげていく。 講師は地域の人材をできるかぎり発掘し活用する。 地域の特性を活かした講座内容(地元の歴史を学ぶ、特産品を使った調理教室等)、地域のニーズ、時代のニーズに応じた講座内容(認知症予防、スマホ初心者講座、健康食の講座等)を工夫する。 学校や関係機関と連携し世代間交流、次世代の育成を目的とした講座を実施する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費、旅費	1,720		講座講師謝礼、会議等旅費								
	需用費	208		講座用消耗品								
	役員費	27		通信運搬料(郵送料)								
	委託料、使用料及び賃借料	23		音響業務委託、会場使用料								
	備品購入費	558		オープンレンジ(大江)、シュレッダー(中央公民館・地域公民館10館分)								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,764		2,740		5,646		4,417	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)	2,764		2,740		5,646		4,417		
予算財源内訳	① 一般財源	2,764		2,740		5,646		4,417	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流用額	0		718					
	② 配当予算	2,764		3,458					
	③ 執行額	2,346		2,536					
	④ 執行率	84.9%		73.3%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.13 / 11.10		0.13 / 11.10		0.13 / 11.10		0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	28,790		28,790		28,790		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	31,136		31,326		28,790		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
							決算付属資料		
								頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	一般講座参加者数	人	5320 / 5600	4083 / 5600	3947 / 5600	/	5600
講座参加者満足度	点	4.65 / 5	4.49 / 5	4.63 / 5	/	5	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	一般講座の回数	回	370 / 400	301 / 400	296 / 400	/	400
	単位あたりコスト		6.9	7.8	8.6		
	単位あたりコスト		/	32 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	多様な生涯学習機会を提供し、学習活動を通じて地域課題解決につなげていく力を培う意義の高いものである。社会教育法に基づき設置した施設であり、市の負担が妥当である。令和3年度は全館で296回の一般講座を実施し、3,947人の参加があった。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	講座や教室については、地域コミュニティづくりを推進していく観点から、材料費のみを参加者負担で実施しているが、今後、受益者負担についても検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	参加枠を超える受講希望者がある等、市民の生涯学習意欲は高まっている。講師についても、学生から高齢者までの地域住民を活用することにより、地域の人材育成や相互に学びあう場となるよう取り組んでいる。各講座参加者にアンケート(年代、参加経験、満足度、講座認知等、各館共通の項目)を実施し、利用者ニーズの把握に努めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	多様な生涯学習講座を開催し、きっかけ作りをし、参加を促すことで自己実現、仲間づくり、世代間交流等が図られるとともに地域の絆が育まれている。住民の学習意欲も高まっており、小学校区で組織されている地区公民館と連携し、住民交流や人材育成のために欠かせない場所となっている。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止せざるを得なかった講座もあったが、感染防止対策を参加者にも協力いただく中で実施した。各講座参加者には、公民館共通した項目を設定したアンケートを継続し、利用者ニーズの把握に努めた。社会情勢の変化に伴い、これまで以上に地域コミュニティづくりや地域課題解決に必要な学習を盛り込んだ生涯学習講座を実施していく必要がある。		
改善策	公民館の主催する生涯学習講座を通して、高齢社会、安心安全、環境問題等、地域課題に対応した学習活動や情報提供を行い、地域住民の主体的な地域づくりや学習活動の促進に努める。 令和4年度以降、午前中から開館し、地域公民館の利用機会拡大による施設の有効活用と市民サービス・満足度の向上を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。令和4年度からの午前中開館に伴い、若い世代の利用促進につなげるため、子育て世代向けの講座に継続して取り組んでいく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	資料収集整理事業					事業コード	630301				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業、図書館システム機器等更新事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	資料の収集は図書館の根幹であり、資料収集方針に則り、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵し、利用者の学習意欲や知る権利を満たす。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ、子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書を確保し、図書館利用による集客を促進する。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者				対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	㈱図書館流通センター、ナカバヤシ㈱大阪支店										
事業概要 (箇条書き)	・中央館及び三和・夜久野・大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を中心に、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵する。 ・所蔵資料を検索・閲覧・貸出可能な有用な状態に整理する(ICタグにより電子情報と結び付ける)。 ・利用者が望む資料にたどり着けるよう、展示方法を工夫し、案内し、調査の支援を行う。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	2,772		消耗品費							
	委託料	1,559		製作・作成業務							
	使用料及び賃借料	687		その他機器等借上料							
備品購入費	14,845		図書								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	19,898		19,539		17,236		16,948		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	19,898		19,539		17,236		16,948			
予算財源内訳	① 一般財源	14,198		13,839		11,536		11,248		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	5,700		5,700		5,700		5,700		
決算情報	① 流充用額	491		334						
	② 配当予算	20,389		19,873						
	③ 執行額	20,389		19,863						
	④ 執行率	100.0%		99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.07 /	2.09	0.97 /	1.86	0.97 /	1.86	0.00 /	0.00	
	② 概算人件費	13,785		12,410		12,410		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	34,174		32,273		12,410		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	除籍資料売却		種類	物品売払収入		8		36	
		佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入			基金繰入金		5,700		40	
		弁償金			弁償金		10		42	
				実績金額				頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間来館者数(全館)	人	230740 / 330000	152478 / 330000	128882 / 330000	/ 330000	330000
	実利用人数(貸出人数)	人	12336 / 12200	9852 / 12200	9742 / 12200	/ 12200	12200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間資料貸出冊数(全館)	冊	595855 / 600000	498678 / 600000	475065 / 600000	/ 600000	600000
	単位あたりコスト						
	蔵書点数(全館 寄贈受入含む)	点	316868 / 315000	320000 / 315000	328237 / 315000	/ 315000	315000
単位あたりコスト			0.1	0.1	0.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>情報収集・発信の役割及び様々な資料の保存場所として、長年にわたり市民や社会のニーズに応じてきており、今後も豊富な資料を備えて、その役割を果たすことは必要である。より魅力的な図書館を目指すために、新鮮で豊富な資料が必要であり、蔵書や利用状況を見ながら計画的に収集していくことで、多くの市民に利用いただけるものとする。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>図書購入は、毎年入札により契約しており、最も効率よく低コストで購入できている。図書の新規購入以外に、市内の分館や京都府内の図書館との相互貸借制度を活用し、本を相互に流通させて有効活用している。利用促進に向けて、タイムリーな話題や工夫を凝らした特集展示を実施している。特集展示などについて、新聞社へ積極的に広報を行い、効率的に図書資料のアピールを進めることができた。庁内・庁外の機関と連携した各種展示を図書館内で行うことにより、図書館利用者数の増加を図った。雑誌スポンサー制度の導入により、府内ナンバーワンの雑誌の寄贈数があり、コストを削減できた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休館やおはなし会などのイベント自粛により、成果目標の達成は困難な状況にある。そのような中でも『暮らしに読書を、おうえん貸出セット』や『図書館資料宅配サービス』、『電子書籍貸出サービス事業』などの非来館型サービスを新たに開始した。今後も新たな利用者を図書館に呼び込むための手法の検討や情報発信などを継続して行う。雑誌スポンサー制度の導入や他部署との連携を進めており、今後も外部資源の活用を行う。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>本事業は図書館の本質にかかわる事業であり、蔵書の充実度や構成は指標(来館者数・貸出冊数)に確実に影響する。しかし影響は即座に現れず数年度程度の遅れがあると思われる。新中央館の新館効果と書架の大幅な拡大により利用者が増えたが、現在は毎年減少傾向にある。更に、新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休館やおはなし会などのイベント自粛により、成果目標の達成は困難な状況にある。そのような中でも『暮らしに読書を、おうえん貸出セット』や『図書館資料宅配サービス』、『電子書籍貸出サービス事業』などの非来館型の新たなサービスを開始した。利用者を増やすためには方策が必要であり、利用促進に向けたタイムリーな話題や工夫を凝らした毎月の特集展示の実施と、それに伴う情報発信の強化は評価できる。また、三たん地域の住民による利用者も多く、通勤・通学・買い物で本市を訪れる方の集客に一定の効果が認められる。全国有数の明智光秀関連資料の充実やバリアフリー資料を購入・強化し、誰もが等しく読書に親しめる環境整備が整えられたことは評価できる。</p>		
改善策	<p>コロナ禍で自粛していたイベントの再開など来館型サービスの充実を図る。新規利用者及び図書館への来館者が増えるよう、市内各種イベントと連携した企画、展示などに更に取り組み、情報発信に継続して取り組む。更に有効で保存価値のある資料、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに応える蔵書を構成する。また、今後も明智光秀関連資料やバリアフリーサービスの充実、郷土資料を魅力的に収集・整理し、地域情報としての機能を強化する。来館者が適切な資料を探し当てられるよう、レファレンス機能の充実など職員の資質向上に努め、お客様サービスの向上を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>図書館は地域情報の拠点として、継続して有用で保存価値のある資料、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに応える蔵書を構成する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中央館運営事業				事業コード	630302						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	238・240	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	資料収集整理事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者に提供し、その教育、調査、研究、レクリエーション等に資することを目的として設置している公立図書館として、それぞれのの人に適した、生涯を通じた学びの場とする											
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者			対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、NECネクサソリューションズ(株)関西支社、日本ファイリング(株)大阪支店、(株)図書館流通センター											
事業概要 (箇条書き)	・図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの拡充を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬	23,308		委員報酬、臨時職員報酬								
	職員手当等	1,565		職員手当								
	需用費	2,022		消耗品費、燃料費、修繕料								
	委託料	5,046		図書館システム及び機器保守業務、移動図書館巡回及び配本等業務 他								
使用料及び賃借料 他	4,487		複写機使用料、その他機器借上料、通信運搬費 他									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	38,018		37,477		42,570		47,679					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)	38,018		37,477		42,570		47,679						
予算財源内訳	① 一般財源	37,851		37,310		42,423		47,532					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	167		167		147		147					
決算情報	① 流充用額	△ 508		△ 139									
	② 配当予算	37,510		37,338									
	③ 執行額	36,424		36,428									
	④ 執行率	97.1%		97.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	3.43	/	2.06	4.19	/	2.39	4.19	/	2.39	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	32,590		39,495		39,495		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	69,014		75,923		39,495		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	55	決算付属資料	46	頁				
		利用券再交付料		雑入		65		46					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間来館者数	人	204943 / 302300	133935 / 302300	109987 / 302300	/ 302300	302300
	実利用人数(貸出人数)	人	12336 / 12200	9852 / 12200	9742 / 12200	/ 12200	12200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	534875 / 539000	444048 / 539000	420788 / 539000	/ 539000	539000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		
	単位あたりコスト		/	36 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>公立図書館は、図書館法に規定された利用者の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置している社会教育施設であり、その必要性は高い。</p> <p>また、利用に対するいかなる対価も徴収してはならないと規定されている公立図書館が果たす社会的役割は大きく、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための施設として、政策目標である「それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり」の取組を進めるべく運営に取組んでいる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公立図書館は、その利用者に対価を求めることを前提としない社会教育施設であり、受益負担の概念にはなじまない。</p> <p>ただし、限られた予算の中で必要な又は必要とされる資料を収集するため、本来定価である図書の入札契約による購入、分館や市外の他館との相互貸借の取組により、コストの削減や効率化に向けて取組んでいる。</p> <p>特に中央館と分館との間での資料相互活用による有効活用の取組の強化に取り組んだ。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>新中央館の新館効果が薄れて定着期に入ったことや、新型コロナウイルス感染予防のため来館を控える利用者がおられることから、各指標の実績は、前年度を下回っている。</p> <p>新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取組みや広報を実施し、一定の成果を上げている。今後においても継続的な取組みを行う。</p> <p>従来の来館型の図書館方式に加え、新たに導入した非来館型である電子図書館とを併用したハイブリッド図書館として利用者の生涯学習に寄与する取組を進めていく。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>地域の情報収集や知識習得の場として中央館は欠かせないものであり、今後も引き続き、特色のある図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握しそれに応えていくことが大切であると考えます。</p> <p>また、福知山公立大学、北部7市町図書館、丹波市・朝来市との3市図書館連携、福知山産業支援センターや京都ジョブパーク等の外部機関との連携による利用者サービスの充実も評価できるものである。</p> <p>さらに、新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取組みの実施と広報により、図書館の認知を広めていることは評価できる。</p>		
改善策	<p>住民の知る自由を保障することは、公立図書館の重要な責務である。この責務を果たすため、職員研修を定期的に行うとともに、外部研修を受講することで専門性を高め、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスを提供する。</p> <p>図書館利用者増加に向けて、新規利用者を図書館に呼び込むための取組の実施と情報発信を、今後も継続実施する。たとえば、府市各部署との行政関係の取組のコラボ展示は、行政の取組の紹介、関連図書の展示貸出による利用者の取組みへの理解の促進、新聞等で紹介されることによる市民の図書館への誘導と良い効果を及ぼしている取組みである。</p> <p>令和2年度に開始した「新しいバリアフリーサービス」や、「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」の各種団体への更なる周知活動を通じて、運用を軌道に乗せるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに寄り添ったサービスの展開をおこなう。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>本市の中核図書館として継続して図書館機能の維持・向上に努め、今後も利用者が課題解決や学習活動・読書活動をおこなえるよう、積極的に情報提供・情報発信に取り組む。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和分館運営事業					事業コード	630303					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422					
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、三和分館移転改修事業、図書館システム機器等更新事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公立図書館として、図書館三和分館において安定した図書サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営することを目的とする。 図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。											
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者				対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・令和5年度の移転開館に向けて、地域住民へのPRを強化していく。 ・地域性を活かした子育て世代をターゲットとした取り組みを行う。(ミニ貸出セット・おはなし会の実施等)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	1,664	臨時職員報酬									
	職員手当等	110	職員手当									
	需用費	15	消耗品費									
	役務費	124	通信運搬費									
使用料及び賃借料	80	複写機使用料										

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,161	2,114	2,220	2,796	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	2,161	2,114	2,220	2,796		
予算財源内訳	① 一般財源	2,161	2,114	2,220	2,796	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流用額	△ 120	△ 91			
	② 配当予算	2,041	2,023			
	③ 執行額	2,022	1,993			
	④ 執行率	99.1%	98.5%			
人概工算	① 従事職員数 (正規員 / 非常勤嘱託職員)	0.12 / 0.70	0.22 / 0.75	0.22 / 0.75	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,710	3,635	3,635	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,732	5,628	3,635	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間来館者数	人	6358 / 5500	4926 / 5500	5222 / 5500	5500	5500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	16089 / 15000	14927 / 15000	16231 / 15000	15000	15000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		
	単位あたりコスト			38			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けのミニ貸出セットを作成し、気軽に借りられる取り組みを行った。 夏休み自由研究お助け隊や図書館の資料を使った工作教室など、地域の小学生が参加した。 「本の処方箋」の企画では、処方箋に見立てた袋に気分に応じたテーマの本を入れ、貸出を行った。 分館は地域の文化振興や生涯学習等の支援や地域に密着した資料の収集とその保存のために必要不可欠な場所である。特に高齢化が進む中、地域の図書館として分館の存在意義は高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 中央館・夜久野分館・大江分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。 地域の行政防災無線や三和地域協議会広報誌を活用し、図書館イベントや新刊案内など、地域住民への広報を効率よく行っている。 子育て支援センター、公民館、地域協議会などと連携した共催企画を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、制限を行っての開館やイベントの実施となったが、来館者数・貸出冊数とも増加傾向となっている。 館独自の取組として「本の処方箋」を実施するなど新たな利用者呼び込むための取組を行っていた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 絵本に特化した図書館として、子育て世代をターゲットとしているが、新型コロナウイルス感染症の影響や子どもの数が減少しており、イベント等、参加者が集まりにくい現状がある。 自宅でも楽しめるミニ貸出セットの活用や「本の処方箋」といった独自の取組に加え、関係機関と連携を強化し、共催事業等地域全体で取り組んでいく必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でできる取組を工夫しながら、分館ならではの地域のニーズに応え、また地元企業に雑誌スポンサー制度の周知を行い、地域一体となった取り組みを進めていく。 また、令和5年度の移転開館に向けて、教育の拠点施設として、支所、放課後児童クラブ、保健福祉センター、子育て支援センター、公民館、地域協議会等、関係機関・関係団体とより密な連携を図っていく必要がある。 令和4年度は、子ども向けのお話会だけでなく、シニア向けのおはなし会などサロン等に積極的に呼びかけたり、移動図書館など、地域での図書館の利用を増やしていくための周知を行う。 ミニ貸出セットや分館の独自企画等、引き続き取り組みを行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度の三和支所への移転開館に向けて、地域住民へのPRを強化し、地域性を活かした、子育てにやさしい図書館づくりをめざす。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	夜久野分館運営事業					事業コード	630304				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者に提供し、その教育、調査、研究、レクリエーション等に資することを目的として設置している公立図書館として、それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場とする										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者				対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	報酬	3,387			臨時職員報酬						
	職員手当等	220			職員手当						
	需用費	16			消耗品費						
	役務費	91			通信運搬費						
使用料及び賃借料	71			複写機使用料							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,719		3,643		4,063		4,629	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)	3,719		3,643		4,063		4,629		
予算財源内訳	① 一般財源	3,719		3,643		4,063		4,629	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流用額	254		162					
	② 配当予算	3,973		3,805					
	③ 執行額	3,972		3,786					
	④ 執行率	100.0%		99.5%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.07 / 0.70	0.10 / 0.75	0.10 / 0.75	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,310		2,675		2,675		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,282		6,461		2,675		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間来館者数	人	12210 / 14500	8148 / 14500	8197 / 14500	/ 14500	14500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	25604 / 26000	20457 / 26000	20117 / 26000	/ 26000	26000
	単位あたりコスト		0.1	0.2	0.2		
	単位あたりコスト		/	40 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>公立図書館は、図書館法に規定された利用者の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置している社会教育施設であり、その必要性は高い。</p> <p>また、利用に対するいかなる対価も徴収してはならないと規定されている公立図書館が果たす社会的役割は大きく、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための施設として、政策目標である「それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり」の取組みを進めるべく運営に取組んでいる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公立図書館は、その利用者に対価を求めることを前提としない社会教育施設であり、受益負担の概念にはなじまない。</p> <p>ただし、限られた予算の中で必要な又は必要とされる資料を収集するため、本来定価である図書の入札契約による購入、分館や市外の他館との相互貸借の取組みにより、コストの削減や効率化に向けて取組んでいる。</p> <p>特に分館と中央館との間での資料相互活用による有効活用の取組みの強化に取り組んだ。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来館者数・貸出冊数とも前年を下回っている。</p> <p>さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。</p> <p>新年特別企画である「本の福袋」の貸出しなど、今後も地域住民に興味を持ってもらえるよう、分館独自の取組を進めている。</p> <p>ボランティア団体の協力を得て「おはなし会スペシャル」や「大人のためのおはなし会」を実施した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考えます。		
改善策	夜久野分館独自のイベントである「本の福袋」や「大人のためのおはなし会」は好評であり、一定の集客効果が得られているため継続実施する。より多くの利用者に来館いただき、利用者1人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための特集展示を行うなど、分館の利用促進に向けたPRを強化する。また、毎月1回のおはなし会の開催、公民館まつりでの図書のリサイクル市の実施など、地域にねぎした図書館として、利用者の声を反映させた選書による蔵書構成にするなど読書活動の推進を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものであり、分館の特色を活かした図書館づくりを継続するとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに応えていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江分館運営事業					事業コード	630305				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、、図書館システム機器等更新事業、図書館電子書籍貸出サービス事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民が生涯にわたって行う様々な学習活動を支援するため、豊富な資料や情報の収集を行い、市民がいつでも、どこでも求める資料と情報が得られるよう図書館機能の充実を図るとともに、市民の自主的、自発的な学習活動を支援する学びの場の提供に努める。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者				対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (簡潔書き)	図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬	1,820		臨時職員報酬							
	職員手当等	119		職員手当							
	需用費	28		消耗品費							
	役務費	103		通信運搬費							
使用料及び賃借料	82		複写機使用料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,149		2,119		2,427		2,489	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)	2,149		2,119		2,427		2,489		
予算財源内訳	① 一般財源	2,149		2,119		2,427		2,489	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流用額	△ 54		68					
	② 配当予算	2,095		2,187					
	③ 執行額	1,990		2,152					
	④ 執行率	95.0%		98.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.12 / 0.70	0.14 / 0.75	0.14 / 0.75	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,710		2,995		2,995		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,700		5,147		2,995		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
							決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	年間来館者数	人	7229 / 7700	5469 / 7700	5476 / 7700	/ 7700	7700	7700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	年間資料貸出冊数	冊	19287 / 20000	19245 / 20000	17929 / 20000	/ 20000	20000	20000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1			
	単位あたりコスト		/	42 /	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	分館は地域の文化振興や生涯学習等の支援や地域に密着した資料の収集とその保存のために必要不可欠な場である。特に高齢化が進む中、地域の図書館として分館の存在意義は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	嘱託1名、臨時3名の実質4名で年間267日開館業務を行い、図書の選書、発注、受入、企画展示、おはなし会の開催など多岐にわたる業務を行っている。設置されている機器も図書館システムパソコン1台、インターネット検索パソコン1台、複写サービス用のコピー機1台と必要最小限となっている。中央館との連携により、所蔵資料の少なさをカバーし、地域に根差した図書館サービスを展開している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来館者数、貸出冊数とも目標を下回っている。浸水被害対策のため、平成31年4月に大江町総合会館2階に移転しリニューアルオープンをして以降、手狭で書架も充分にない状況であったが、廃校の図書室の使われなくなった書架を有効活用するなど、図書館機能の強化に努めた。大江分館は所蔵資料も少なく、レファレンスも簡易なものに限られるが、大江町地域の知の拠点として、特色を生かした図書館づくりを進めていく。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	平成30年度に浸水被害を被り、翌年度から2階に場所を移し、浸水の恐れはなくなったが、以前よりも手狭で書架も充分ではない中で、廃校の図書室から使われなくなった書架を運んで配架スペースを充実させた。以前は机の上に並べられていた本を書架に並べることができ、蔵書数が増え、図書も探しやすくなるなど、図書館機能が強化された。しかし、大江分館は手狭でスペースも限られており、所蔵資料は少なく、レファレンスも簡易なものに限られる。地域の情報収集や知識習得の場として、大江分館は欠かせないものであり、これまで以上に、分館の特色を活かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズに応えていくことが大切であると考えている。		
改善策	より多くの利用者に来館いただくために、特集展示やそれに合わせた情報発信など、見せ方などを工夫する必要がある。他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、これまで以上に分館の特色を活かした図書館づくりなど、分館の利用促進に向けたPRを強化し、読書活動の推進を図る。具体的には、他部署や各種団体と連携した企画展示や毎月1回のおはなし会の開催、図書のリサイクル市など地域イベントへの参加、図書館利用者の声を反映させた蔵書構成などにより分館の魅力をより高め、図書館HPや広報による情報発信を積極的に行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域の情報収集や知識習得の場として、大江分館は欠かせないものであり、分館の特色を活かした図書館づくりを進めるとともに、さらに利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズに応えていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業					事業コード	630308					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路智子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年12月12日 法律第154号)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、図書館システム機器等更新事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施することで、すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供する。具体的には、おはなし会や子ども向けのワークショップ、大人向けの読み聞かせ等についての講演会やボランティア養成講座を開催することにより読書活動の推進を図る。											
対象者	乳幼児から大人まで			対象者数	77,000		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・子ども向けの図書館内や出張の各種おはなし会、大人向けには読みきかせのボランティア養成講座や講演会・研修会等を開催。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業を休止・中止した一方、高齢者向けの出前講座として「シニア向け読書講座」を新たに開始した。 ・ブックスタート事業では、4か月健診時に絵本をプレゼントをしているが、対面による読みきかせは休止しており、図書館で感染症対策を行ったうえで、ブックスタート読みきかせ体験を実施。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費	77		報償金								
	需用費	642		消耗品費								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,325	1,255	1,192	1,225				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,325	1,255	1,192	1,225					
予算財源内訳	① 一般財源	92	127	80	48				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,233	1,128	1,112	1,177				
決算情報	① 流充用額	△ 66	0						
	② 配当予算	1,259	1,255						
	③ 執行額	659	719						
	④ 執行率	52.3%	57.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.76 / 1.05	0.60 / 1.05	0.60 / 1.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,705	7,425	7,425	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,364	8,144	7,425	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	710	決算付属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	保護者による10か月児への読みきかせ実施率	%	94 / 90	— / 90	— / 90	/ 90	90%以上
	図書館の児童書・絵本貸出冊数	冊	332928 / 371858	270776 / 349574	258255 / 284315	/ 271168	前年比5%増
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	おはなし会等実施回数	回	159 / 180	54 / 180	57 / 180	/ 180	180回
	単位あたりコスト		6.9	12.2	12.6		
	単位あたりコスト		/	44 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 「ブックスタート読みきかせ体験」の実施。乳幼児期の読みきかせは、言葉の発達や情緒の安定など重要であるが、検診時の個別の読みきかせを休止しており、その補完事業として開催した。 「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」の活用。非来館型の新たなサービスとして、保育園・小学校・放課後児童クラブ・児童館・自治会等の団体への本の貸出。 シニア向けおはなし会の実施。シニア向けの貸出しセットの利用が多く、おはなし会等の需要が増加している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 読書ボランティア等との連携協力により、図書館や学校・地域等での読み聞かせを実施。図書館職員が学校や地域に行かなくても、ボランティアによる活動が広がっている。ボランティアに対して、研修会や講演会等を実施している。 貸出セットの活用は、通常の団体利用よりも多くの本の貸出が可能である。貸出先や出張おはなし会等でそれぞれの取組を紹介することで、新たな申し込みにつながっている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、制限を行っての開催やイベントの実施となり、来館者数・貸出冊数とも減少している。 出張おはなし会やブックスタート読みきかせ体験等、さまざまなところで紹介していることもあり、特にシニア向けのおはなし会や貸出セットの利用は増加傾向にある。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、4か月検診時のボランティアによる読みきかせや、4ヶ月児・10か月児検診のアンケート調査が実施できなかった。そのため、感染対策を行ったうえ、申込制による「ブックスタート読みきかせ体験」を実施している。各検診時にプレゼントする絵本の読み聞かせやブックスタート事業の説明を行っており、読みきかせ体験やおはなし会への参加へつながっている。 イベント等が事前申込制のため、乳幼児の参加はその日の都合で変更になったり、気軽に参加できにくい現状がある。 臨時休館等もあり、館内イベント等についても多くが休止・中止となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館等に対応する支援策として、図書館の児童書や絵本を「暮らしに読書を、おうえん」貸出セットとして小学校・放課後児童クラブ等に貸出を行い、長期休み等で利用してもらっている。放課後児童クラブ等の利用では、新しい本のセットであることから、管理等が困難という意見も聞かれる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会の参加は新たにスタンプカードを作成して、中央館、各分館のおはなし会に参加してもらいやすい取り組みを行う。また、状況をみながら定員数の増加を行う。 出張おはなし会を保育園、幼稚園、こども園等に拡充を行う。さまざまな場所での出張おはなし会などの要望にこたえることのできる体制を整えるため、読書ボランティアの活動範囲を広げるなど、連携協力を行っていく。 「暮らしに読書を、おうえん」貸出セットの内容を1セット50冊から25冊のハーフセットを作成するなど、管理がしやすく、ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供を行っていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	図書館ボランティア等の連携により、出張おはなし会を充実させていくため、ボランティア保険の加入を行い、より幅広い読書活動支援活動を行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	図書館システム機器等更新事業					事業コード	630314					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422					
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が生涯にわたって行う様々な学習活動を支援するためには、豊富な資料や情報の収集に加え、市民への適切な提供の場が必要である。市民がいつでも、どこでも求める資料と情報が得られるよう、図書館の業務全般に対応する図書館システムの整備・充実を図る。図書館内に設置している機器は、故障時に必要な部品調達が難しくなっており、定期的な機器の更新を行うことで、図書館利用者に対する安定的なサービスの提供を行う。具体的には、セキュリティゲートや自動貸出機、図書館システム端末及び周辺機器を更新し、システムトラブルなく図書館運営が円滑に行える体制を整える。											
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者	対象者数	684,000	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	NECネクソソリューションズ㈱											
事業概要 (箇条書き)	・図書館システム用ファイアウォール機器の更新業務とあわせて、中央館と三和・夜久野・大江の3分館で国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを利用可能とし、3分館のADSLを光回線に変更する。 ・図書館システム端末の周辺機器の中で使用頻度が高く故障が多いICアンテナセットを5台購入する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	役務費	72	通信運搬費									
	委託料	5,009	図書館システム用ファイアウォール更新業務、図書館システム関連機器更新業務 他									
	備品購入費	80	施設備品									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	6,604	32,251	18,930				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	0	6,604	32,251	18,930					
予算財源内訳	① 一般財源	0	6,604	0	18,930				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	32,251	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 334						
	② 配当予算	0	6,270						
	③ 執行額	0	5,161						
	④ 執行率	0.0%	82.3%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.15 / 0.05	0.15 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	1,325	1,325	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,486	1,325	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		更新作業に伴う障害発生件数	回	/	/	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	システム機器の更新	台	/	/	9 / 89	/ 89	89
	単位あたりコスト				573.4		
	単位あたりコスト		/	46 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>市民が生涯にわたって行う様々な学習活動を支援するためには、豊富な資料や情報の収集に加え、市民への適切な提供の場として図書館の必要性は高まっている。図書館システム及び自動化書庫は、全ての図書館業務で利用されており、システムが使えなくなることは、図書館運営自体が停止することになり、利用者に多大な迷惑をかけることとなる。図書館運営は民間や市民では実施できない事業であり、図書館運営の根幹となるシステムの安定化は最優先で取り組む必要がある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>図書館サービスを切れ目なく利用者に提供するためには、機器設定業務はシステムベンダーしか履行できないため、随意契約としたが、庁内アドバイザーから意見を聴き、業務内容を精査して必要最小限の経費となるよう相手方と交渉してコスト削減を図った。ファイアウォール機器の更新業務にあわせて、三和・夜久野・大江の3分館のADSL回線を光回線に変更したことで、光回線新設作業の費用が大幅に削減できた。機器購入と設定作業を一括で業務委託することで、機器の保守管理を含め、費用を抑えることができた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>事業目的は予定通り履行されており、更新作業に伴う障害発生もなく、成果目標も実績も適切であると考える。特に、ファイアウォール機器の更新業務にあわせて、図書館中央館と三和・夜久野・大江の3分館で国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを利用可能としたことで、利用者の幅広い資料ニーズに対応できるようになった。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>ADSLから光回線への変更とファイアウォール機器の更新に併せて、国立国会図書館の承認を受け、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を開始できた。これにより、絶版などの理由で入手が困難な資料を図書館中央館と三和・夜久野・大江の3分館でも閲覧ができるように整備することで、利用者が使える資料の数が格段に増え、多様な資料を提供することで、本市図書館のレファレンス機能が更に強化・充実したものとなった。平成26年度の新館オープン時に設置したパソコン及び周辺機器については、保守契約の目安である5年を経過し、不具合もでてきている。</p>		
改善策	<p>図書館システム機器を計画的に更新するため、令和3年度にインターネットセキュリティ関連機器、令和4年度にICゲート・ICタグ関連機器、令和5年度にパソコン関係機器の更新を3か年に対応する。令和4年度は3か年計画の2年目でICゲート・ICタグ関連機器の更新を行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>図書館利用者に安定的にサービスを提供するためには、計画的に図書館システム機器の更新が必要となる。具体的には、システム機器の更新作業は図書館の休館中でないと作業ができないため、蔵書点検期間の休館を利用するなど、臨時休館が発生しないように工期の調整を行う。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	図書館電子書籍貸出サービス事業					事業コード	630316				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館システム機器等更新事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	図書館サービスの更なる利便性向上と「withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、24時間いつでもどこでも利用できる電子書籍貸出サービスを導入し、学校の休校時、外出抑制時における児童生徒の読書環境を整え、学びを支援すること、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」を遵守し、身体的に来館や読書が困難である方への図書館サービスを拡大すること、非来館型サービスの充実を図ることにより、来館型と非来館型の併用によるハイブリッド図書館による多様な選択肢の確保と利便性の向上を目指すものである。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)				対象者数	85,000		単位あたりコスト	0.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	NECネクソソリューションズ(株)、(株)図書館流通センター										
事業概要 (簡潔書き)	来館型と非来館型によるハイブリッド図書館による多様な選択肢の確保と利便性の向上のために、電子書籍コンテンツを初年度(令和3年9月補正)1万点、令和4年度5千点を購入し、電子書籍貸出サービスを充実させる。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	役員費	83			音楽配信サービス利用料						
	委託料	7,646			開発・改修業務、製作・作成業務						
	使用料及び賃借料	22,862			電子書籍コンテンツ使用料						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		0		24,540		27,854			
	② 補正予算	0		30,635		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)	0		30,635		24,540		27,854				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		27,854			
	② 国支出金	0		0		24,540		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		30,635		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	0		30,635							
	③ 執行額	0		30,590							
	④ 執行率	0.0%		99.9%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.63 / 0.40	0.63 / 0.40	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	0		6,040		6,040		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0		36,630		6,040		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	図書館電子書籍貸出サービス事業(地方創生臨時交付金)			種類	教育費国庫補助金		30,589		22	頁
		実績金額		決算付属資料							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	電子書籍貸出サービス登録者数	人	/	/	/	12682 / 23834	/ 23834
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	電子書籍コンテンツ数	点	/	/	20918 / 24000	/ 24000	24000
	単位あたりコスト		/	48 /	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市が実施した「スマートシティ推進に向けた市民アンケート調査」で「電子図書館の整備」は実施して欲しいサービス13位/50位となっており、電子図書館サービスの導入は市民満足度の向上につながる。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	電子書籍貸出サービス導入のコンセプトは、リアルな紙の本と電子書籍の両方を充実させた「ハイブリッド図書館」による多様な選択肢の確保と利便性の向上を目指すものである。そのため、新たに導入する電子書籍貸出サービスは、既存の紙の本と相互連携させる必要がある、それができる業者が限定される。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	図書館サービスの更なる利便性の向上と「withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、電子書籍貸出サービスの導入は必要と考える。また、読書は想像力が身に付き、心も豊かになるため、市内の小中学生約6千人に利用に必要なIDとパスワードを付与したことにより、特に小中学生の利用が多くあることは、活字離れの抑止に効果が出ていると考える。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年1月20日のサービス開始と同時に、利用方法やサイトの使い方、機能などの問い合わせが多くあり、約2か月でログイン数10万回を達成するなど市民の関心も高かった。電子図書館の開設に併せて市内の小中学生約6千人に利用に必要なIDとパスワードを付与したことから学校の授業などで子ども達がよく利用している。今後は大人達の利用者も増やしていきたい。		
改善策	電子図書館の使い方がよくわからないという方に対して、図書館職員が丁寧に使い方を教える「電子図書館の使い方おしえます」教室を開催する。電子書籍コンテンツ数を増やすとともに、電子図書館での特集企画を毎月ごとに展開してPRを進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今後も電子書籍コンテンツの充実を図り、利用の促進、ハイブリッド図書館としての機能強化に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---